

2021年3月7日
祈りの時
詩篇9篇1～12節

9:1 私は心を尽くして【主】に感謝します。あなたの奇
しいわざを余すことなく語り告げます。

9:2 私は、あなたを喜び、誇ります。いと高き方よ。あ
なたの御名をほめ歌います。

9:3 私の敵は退くとき、つまずき、あなたの前で、ついえ
去ります。

9:4 あなたが私の正しい訴えを支持し、義の審判者と
して王座に着かれるからです。

9:5 あなたは国々をお吐りになり、悪者を滅ぼし、彼らの名を、とこしえに、消し去られました。

9:6 敵は、絶え果てて永遠の廃墟。あなたが根こぎにされた町々、その記憶さえ、消えうせました。

9:7 しかし、【主】はとこしえに御座に着き、さばきのためにご自身の王座を堅く立てられた。

9:8 主は義によって世界をさばき、公正をもって国民にさばきを行われる。

9:9 【主】はしいたげられた者のとりで、苦しみの
ときのとりで。

9:10 御名を知る者はあなたに拠り頼みます。【
主】よ。あなたはあなたを尋ね求める者をお見
捨てになりませんでした。

9:11 【主】にほめ歌を歌え、シオンに住まうその
方に。国々の民にみわざを告げ知らせよ。

9:12 血に報いる方は、彼らを心に留め、貧しい
者の叫びをお忘れにならない。

1 詩篇9篇と10篇はもともとは一つの詩篇で、ヘブル語のアルファベットが各節の頭に順に並んでいるいろは歌であります。ここでは「わたし」と、神様である「あなた」と敵の三者が出てきています。私たちは敵の前で弱い人間ではありますが、神様は義の審判者として王座についておられる強いお方です。

詩篇8篇では大自然の中の偉大なる神様をほめたたえましたが、9篇では歴史の中で王座について悪しき人間の世界を義をもって裁かれる偉大な神様が示されています。義なる主を見あげ、あがめて祈りましょう。

2 1～4節を読みましょう。敵という言葉が出てきます。ダビデは生涯で様々な敵と戦っています。少年時代、羊を飼っている時には熊やライオンと戦いました。

大男のゴリアテとも愛用の石なげ機の石で倒しました。サウル王のねたみ心との戦いも長く続きました。息子アブシャロムとも戦わなければなりません。動物や人だけでなく、自分の心の中の罪とも戦わなければなりません。ダビデの正しい訴えを主は聞いてくださっています。敵と戦う時、問題に囲まれる時、人ではなく主に訴えましょう。主に祈り叫びましょう。

3 5～8節を読みましょう。ここでは神様である「あなた」や主が連続で出てきます。神様とその力ある業を見上げています。自分の弱さや問題を見ていません。私たちも自分の罪の傷や弱さ、小ささを見ないで、また地上の人間や敵対者を見ないで、悪しきものを滅ぼす主、敵を根こそぎにされる主、公正をもってもろもろの国民を裁かれる主を見上げ、主のさばきに委ねて行きましょう。

4 9～12節を読みましょう。主は、虐げられている者、苦しむ者、貧しいものを砦のように守ってください。主により頼みましょう。主は私たちをお見捨てになりません。貧しい者の叫びをお忘れになりません。主にほめ歌を歌い賛美し、主のみわざを国々の民に告げ知らせましょう。

2021年3月第一の主の日の礼拝です。

大地は春の芽生えの準備をしています。

冬枯れの木の枝も色づき始めています。

3月28日は棕櫚の日曜日、

その週は受難週、4月4日はイースターです。

試練、苦難の後、イエス様は力強く死から復活されま

した。私たちもイエス様の復活の力で

誘惑、罪に打ち勝ち、苦難の中におられる方々がイエ

ス様の復活の力によって歩まれるように

祈りましょう。

この一年主からのビジョンに
導かれて歩めるように。

召された場所、主に遣わされたところで
良き働きができるように祈りましょう。

人に仕え、主の栄光を現すことが
できるように。

礼拝、その他の集会が
祝福されるように祈りましょう。

リモートで礼拝を守っておられる方々が祝福され
るように祈りましょう。

春は変化の季節です。

家族、子供たち、友のことを覚えて、
主に導かれた道を歩まれるよう祈りましょう。

空手教室も始まりました。

講師の朱達基先生のため、参加者のため、
安全のために祈りましょう。

教会学校が祝福されように祈りましょう。
一人一人の仕事、経済が守られ祝福される
ように。この一週間元気に守られ、
又来週元気に主を礼拝できるように。

主の祈り

天にまします我らの父よ
願わくは御名をあがめさせたまえ
御国を来たらせたまえ
御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく
我らの罪をも赦したまえ
我らを試みにあわせず
悪より救いいだしたまえ
国と力と栄えとは
限りなく汝のものなればなり アーメン